

介護現場の業務改善支援に係る 令和8年度の県の取組について



令和8年5月26日
千葉県健康福祉部高齢者福祉課
法人・事業者支援班

令和8年度の県の取組

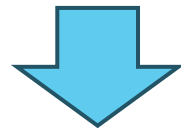
1 介護テクノロジー一定着支援 事業について

1 介護テクノロジー定着支援事業

介護テクノロジー定着支援事業費補助金とは

介護従事者の負担軽減、職場環境の改善等の目的で

- ・ H 2 8 ～ 介護ロボット導入支援補助金
- ・ R 2 ～ I C T 導入支援補助金



R 6 ～ 介護テクノロジー補助金

令和6・7年度介護テクノロジー定着支援事業費補助金においては、各年度ともに、**500を超える事業所**に活用いただきました

1 介護テクノロジー定着支援事業

令和8年度事業の概要（予定）

予算…12.8億円（令和7年度2月補正予算、令和8年度への繰越分）

補助率…4/5 **UP!**

補助対象…県内の介護サービス事業所、軽費老人ホーム、養護老人ホーム

事業内容…介護テクノロジー等の導入支援

介護テクノロジーのパッケージ型導入支援

補助要件…① 本セミナーの受講

② **導入計画の作成等、事業の実施にあたり、交付申請期間終了**

までに千葉県介護業務効率アップセンターに相談をすること 等

※ 補助要件①について

- ・ 介護テクノロジーを導入する事業所の職員の方が受講してください
（本日のセミナー動画は、今後アーカイブ配信を行う予定です）
- ・ セミナー受講後は、必ずアンケートに回答してください
（回答時に発行される**受付番号**が、補助金申請時に必要となります）

1 介護テクノロジー定着支援事業

介護テクノロジー等の導入支援

昨年度から変更あり！！

○補助対象経費

- ①「福祉用具情報システム」（（公財）テクノエイド協会が提供。以下、「TAIS」という。）に掲載された介護テクノロジー
「TAIS」において「介護テクノロジー」として選定された機器等を導入する際の経費を対象とする。
- ②介護ソフトの定着促進支援 ←介護ソフトと同時申請に限ります！
介護ソフトの定着を促進する費用として、介護ソフトの導入に伴い一体的に使用するためのタブレット端末の購入費用やWi-Fi環境整備に必要な経費等を対象とする。
- ③その他
 - ・「TAIS」に掲載されていない機器で、TAISの介護テクノロジーと機能等が同水準と県が判断した機器
 - ・身体的負担の軽減、業務の効率化等、職場環境整備として有効であり、介護サービスの質の向上につながるもの。

1 介護テクノロジー定着支援事業

介護テクノロジーのパッケージ型導入支援

補助対象経費

介護業務支援 + 一緒に導入し、連動することで効果が
高まると判断できるテクノロジー

「TAIS」掲載の介護テクノロジー

【パッケージ型の例】

- ・「介護業務支援」に該当する機器 + 「見守り・コミュニケーション」に該当する機器
- ・「介護業務支援」に該当する複数の機器
- ・介護記録ソフト（TAIS同水準） + インカム 等

【通信環境整備が対象となるパターン】

- ・介護テクノロジー等の導入支援の場合（導入する機器の1機器あたりの基準額の範囲内）
- ・介護ソフトの定着促進支援の場合
- ・パッケージ型導入支援の場合（パッケージ型導入支援全体の基準額の範囲内）

1 介護テクノロジー一定着支援事業

The screenshot shows a search results page for welfare goods. On the left, there are filters and a comparison button. The main area displays two product listings. The first listing is for a product priced at ¥330,000, released in April 2022. The second listing is for a product priced at ¥6,530,000, released in March 2022. A red box highlights the filter option '介護テクノロジー' (Nursing Technology) under the '福祉用具' (Welfare Goods) category, with a red arrow pointing to the '介護テクノロジー' label in the second product listing's category field.

検索条件を表示する

福祉用具を比較する

チェックボックスをクリックして選択

チェックボックスをクリックして選択

「介護テクノロジー」 ←
として登録済み ←

比較する

製品写真 ←

メーカー・製品名 ←

¥330,000

製品説明 ←

分類コード TAISコード

発売年月 令和8年4月

取説等

詳細へ

製品写真 ←

メーカー・製品名 ←

¥6,530,000

製品説明 ←

分類コード TAISコード

発売年月 令和8年3月

動画 取説等

詳細へ

介護テクノロジー
入浴支援

【参考】

(公財) テクノエイド協会 福祉用具情報システム (TAIS) 検索結果の画面 (一部加工)

<https://www.techno-tais.jp/ServiceWelfareGoodsList.php>

1 介護テクノロジー定着支援事業

補助金申請の流れ

申請準備（～5月）

事前協議（6月）



交付申請（7月下旬頃）



交付決定（10月頃）



実績報告（1月）



補助金の交付（3月）

事前協議終了までに、

- ・千葉県介護業務効率アップセンターの試用貸出等を活用

交付申請終了までに、

- ・導入機器等や業務改善計画の相談をする

詳細は決まり次第ホームページに掲載します

テクノロジー補助金の事業実施にあたっては、
千葉県介護業務効率アップセンターの
相談窓口、試用貸出、研修・伴走支援事業を
ご活用ください。

6月12日午後5時
まで募集中！

1 介護テクノロジー定着支援事業

お問い合わせ先

補助金については

高齢者福祉課法人・事業者支援班

電話 043-223-3496・2593

FAX 043-227-0050

Mail kourei5@mz.pref.chiba.lg.jp

導入機器等の相談は

千葉県介護業務効率アップセンター

電話 043-216-2011



令和8年度の県の取組

2 千葉県介護業務効率アップ センターの取組について

2 千葉県介護業務効率アップセンターの取組

主な支援内容

①各種相談

業務改善手法に関する介護現場からの相談に対応します。業務改善方法の紹介や、介護ロボット製品情報、補助金・基金の紹介等を行います。

※オンラインでも対応可



②研修会

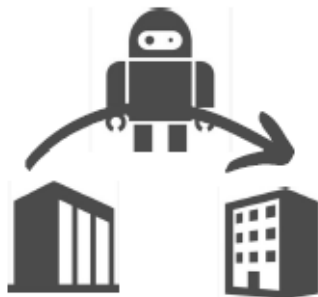
現場の課題とそれに応じた改善方法や介護ロボットの選定手法、改善時の留意事項、効果、取組事例等を説明する研修会を実施します。



③介護ロボット・ICT機器貸出

介護ロボットの試しに使ってみたいという介護現場から、介護ロボットの試用貸出依頼を受付、企業へ取り次ぎます。

※貸出自体の費用は無料
運搬に係る費用など別途
かかる可能性があります



④伴走支援

介護現場に対し、現場課題の見える化、課題に応じた業務改善手法（適切な介護ロボット選定等）、業務改善に伴う現場のオペレーション変更に関する助言等個別支援を行います。



2 千葉県介護業務効率アップセンターの取組

各種相談

■相談例

- ✓業務改善に取り組みたいが、何から始めればよいか分からない
- ✓介護ロボット・ICT機器を導入したいが、何を入れればよいか分からない
- ✓介護ソフトを導入したいが、どのようなソフトを入れればよいか分からない
- ✓介護助手を導入したいが、どのような業務を任せればよいか分からない
- ✓生産性向上推進体制加算の取得を検討しており、詳細を知りたい
- ✓ケアプランデータ連携システムの導入方法を相談したい

介護現場の業務改善について、一から丁寧に为您解答します！！

上記に関わらずお困りの際には、千葉県介護業務効率アップセンターにご相談ください！



千葉県介護業務効率アップセンター

所在地 : 〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央3丁目3 6階
(公益財団法人介護労働安定センター千葉支部内)

開設時間 : 平日午前9時から午後5時まで 電話 : 4043-216-2011

メール : kaigochiba@kaigo-center.or.jp



2 千葉県介護業務効率アップセンターの取組

研修・セミナー等①

■令和8年度の開催予定

- 介護事業所の業務改善研修

※ 4回の研修を一連のプログラムで実施します

第1回（7月）現場の課題を見える化しよう

第2回（7月）実行計画を立てよう

第3回（12月）改善活動に取り組もう

第4回（1月）改善活動・実行計画を振り返ろう

- 在宅系サービス介護事業所の業務改善研修（オンライン）

第1回（8月）現場の課題を見える化しよう

第2回（8月）実行計画を立てよう

第3回（12月）改善活動に取り組もう

※ 3回の研修を一連のプログラムで実施します

- 業務改善フォローアップ研修

- 介護助手導入のためのセミナー

詳細が決まりましたら、
ご案内いたします

伴走支援事業所の募集と
併せて、6月12日午後
5時まで参加申込を受付
中です！

6月12日午後5時
まで参加申込を受付中
です！



2 千葉県介護業務効率アップセンターの取組

研修・セミナー等②

● 科学的介護セミナー 秋頃開催

【参考】昨年度のプログラム (R7.11.26開催)

13:05 ~13:50

基調講演

科学的介護とは？

～生産性向上の取組との関係について～

株式会社 ビーブリッド
代表取締役 竹下 康平 様



13:50 ~14:35

基調講演

科学的介護の実践！

～選ばれる施設になるための取り組みと効果～

株式会社日本経営
介護福祉コンサルティング部
推進役 齊藤 貴也 様



14:35~14:55

事例発表

科学的介護の実践と利用者の変化

社会福祉法人九十九里ホーム飯倉駅前
特別養護老人ホームシオン
介護支援専門員 常世田 正猪 様



● 介護業務改善事例発表会 介護テクノロジー体験展示会

3月開催



介護業務改善事例発表会



介護テクノロジー体験展示会

令和6年度の発表会で紹介された**取組事例**について、介護業務効率アップセンターのホームページに**動画を公開**しています

- ・特別養護老人ホームひかり隣保館：入浴支援・介護業務支援（インカム）
- ・特別養護老人ホーム名木緑風園：見守り
- ・特別養護老人ホーム淑徳共生苑：入浴支援

<https://chiba-kaigocenter.com/>



それぞれの取組を、
5～6分の動画
で紹介しています

2 千葉県介護業務効率アップセンターの取組

モデル介護事業所の養成①

- 身近な地域で業務改善の取組の参考となるようなモデル事業所を養成しています
- 令和7年度は、東葛北部・香取海匝・君津の3つの地域で事業を実施しました。今後、**モデル事業所の公開見学会**を予定していますので、ぜひご参加ください！（詳細が決まりましたら、ご案内いたします）

施設

特別養護老人ホーム柏きらりの風
(見守り支援機器・記録システム)

在宅

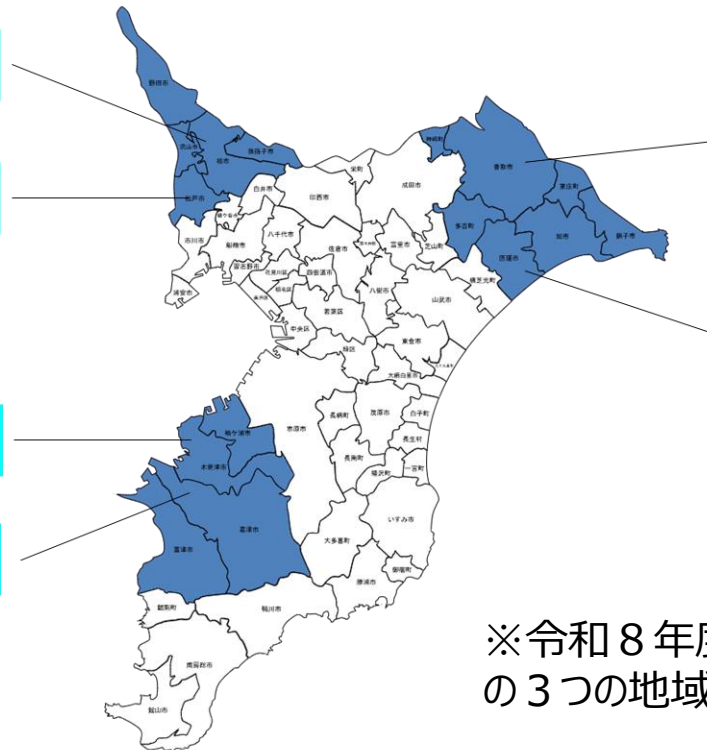
のぞみ会居宅介護支援事業所
(ケアプラン作成支援・データ提供支援機器)

施設

特別養護老人ホーム中郷記念館
(入浴リフト：入浴・移乗)

在宅

株式会社バ・メディクス
(ケアプラン作成支援・議事録支援機器等)



在宅

たすけあい訪問介護センター
(訪問ルート支援機器・情報共有ツール)

施設

九十九里ホーム飯倉駅前特別養護老人ホームシオン
(移乗支援機器・入浴支援機器)

※令和8年度は、東葛南部・印旛・山武長生夷隅の3つの地域で、事業を実施します

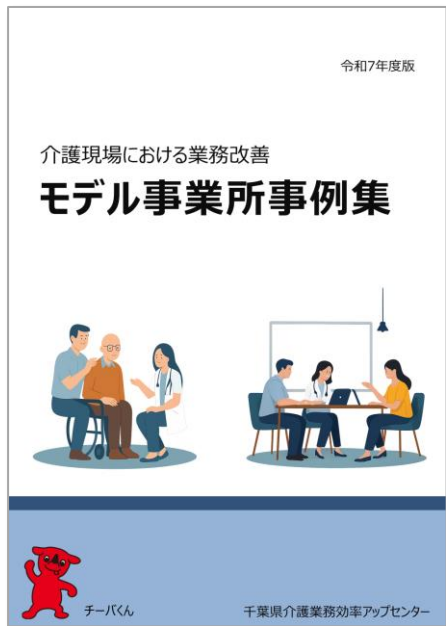
2 千葉県介護業務効率アップセンターの取組

モデル介護事業所の養成②

モデル事業所事例集（令和7年度版）

県のホームページで**事例集**を公開しています

<https://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/gyoumukaizen/documents/r7model-jireisyu.pdf>



特別養護老人ホーム柏きらりの風 (柏市・東葛北部圏域)

- 事業所データ
 - サービス種別：介護老人福祉施設
 - 所在地：柏市西原2-9-1
 - 入居者数：80名（10ユニット）
 - 職員数：80名（常勤 52名、非常勤 28名）
- 取り組みの概要
 - 夜間の入室回数が多く、夜勤者の身体的・精神的負担が課題だったため、見守り支援機器「視力SCAN」を40台追加導入した。センサーによる見守りを全室導入し、利用者の状態をタブレット画面上で確認できるようにすることで、これまで必要だった入室による目視確認を減らし、入室回数を削減した。加えて、「視力SCAN」で取得した機能データを分析し、昼夜逆転傾向のある利用者を顕在化した。そして、当該利用者に対し日中の活動量を促す支援を行うことで、睡眠リズムの安定化を図るなど、「ケアの質の向上」にも取り組んだ。
 - また、業務アドバイザーによる伴走支援を通じて、慣例的に実施していた早番・夜勤者間の対面による申し送り業務を見直した。既存の介護記録ソフト「ほのNEXT」の記録機能及び、ビジネスチャット「direct」のチャット機能を活用し、口頭中心の引継ぎからシステムを介した情報共有へ転換することで、申し送りや、残業時間の削減を図った。
- 取り組みのポイント
 - 【負担軽減とケアの質向上】夜間の見守りに関する身体的・精神的負担軽減を目的として導入した「視力SCAN」の機能データを活用し、利用者の睡眠リズム改善まで踏み込むことで、負担軽減とケアの質の向上を同時に実現した。
 - 【記録業務の効率化】事業所内のDX委員会だけでは取り組み切れなかったが、伴走支援による第三者の視点を取り入れることで慣例化していた申し送り業務をシステム化でき、残業時間を削減した。
- なぜ「見守り支援機器」の業務改善に取り組んだのか
 - プロジェクトリーダー 岡田さん（副施設長）
夜間巡回を1時間に1回行う中で、入居者の安眠を妨げてしまったり、深い寝の状態で非助動介助が必要になることを課題と感じていました。入居者一人ひとりの生活リズムや寝癖の死に寄り添った支援を行いたいという思いから、全床に視力SCANを導入しました。
必要ときに必要な支援を行うことで、安心して眠れる環境づくりと、職員の負担軽減の両立を目指しました。

事例紹介動画

介護業務効率アップセンターのホームページに、モデル介護事業所の**事例紹介動画**を公開しています

- ・九十九里ホーム飯倉駅前特別養護老人ホームシオン（移乗支援機器・入浴支援機器）
- ・のぞみ会居宅介護支援事業所（ケアプラン作成支援・データ提供支援機器）
- ・特別養護老人ホーム柏きらりの風（見守り支援機器・記録システム）

の3事業所の取組を、**合計12分程度**の動画で紹介しています

<https://chiba-kaigocenter.com/>



[モデル介護事業所の養成]の事例紹介動画